



感染性胃腸炎顛末記

校長 神倉美智子

先日の、修学旅行における6年生の感染性胃腸炎の集団感染では、大変ご心配とご迷惑をおかけいたしました。現時点でも原因は不明のままですが、校内での感染を拡大させないために、学年閉鎖という手段を取らせていただきました。その効果もあり、他学年へ広まることなく流行はすぐに終息し、欠席状況も通常の状態に戻りました。

この感染を知り、私たち教職員が一番危惧したのは他の児童への感染拡大と、給食室へのウイルスの侵入です。6学年全体の学年閉鎖と同時に、感染を防止するための注意事項が書かれた手紙を全家庭に配付しました。兄弟や保護者への家庭内感染を防ぐためです。

また、感染がわかった日から、学校中の消毒も実施しました。次亜塩素酸ナトリウム消毒液を大量に作り、児童が下校した後の教室、廊下、トイレ、使用した特別教室の消毒を行い、児童が触る机や椅子、階段の手すり、ドアや流しの取っ手なども、消毒液ですべて拭いて回りました。

それと、何より恐れたのは給食室の汚染です。絶対にウイルスを入れないようにするため厳戒態勢を敷き、調理員さんが廊下を歩いて行う低学年の教室前運搬も中止しました。全学年とも、給食の受け渡しは給食場前の廊下で行い、調理関係者以外が給食場のホールに立ち入ることがないようにしました。また、給食の運搬時以外は給食室前の廊下は極力通行しないよう制限し、立ち入る際は、塩素に浸したタオルの上を歩いて靴の裏を消毒しました。以上のことを、2週間、全教職員で毎日実施しました。

ノロウイルス感染防止には、通常おいてあるアルコール系の手指消毒剤では効果がありません。ご家庭にも台所に塩素系漂白剤が置いてあると思いますが、それを薄めて使います。用途によって濃さは変わりますが、通常の除菌なら、1ℓのペットボトルにキャップ1杯(約5ml)の原液を入れたもので拭き掃除をすれば大丈夫です。感染が疑われる場合は、500mlにキャップ2杯の漂白剤を入れた濃さのものでの消毒が必要です。

今回の経験で痛感したことは、ウイルスはどこに潜んでいるかわからないということ、校外学習の折にも、次亜塩素酸消毒液を持参すべきだということです。特に冬の時期には多く流行しますので、ご家庭でもこまめな消毒をお勧めします。

土曜参観の折には、保護者の方々にもごいろいろと不便をおかけいたしましたことと思います。ご協力ありがとうございました。

◆ 7月の目標 ◆

【生活】

身の回りの

整理整頓をしよう

【保健】

夏を健康に過ごそう

【給食】

清潔に心がけて

食事をしよう



たくさんのご参観、ありがとうございました

16日(土)に土曜授業参観を行いました。子どもたちもいつも以上に頑張って学習に臨んでいました。たくさんの方に参観していただき、ありがとうございました。7月は個人面談があります。夏休みに向けて、1学期の学習や生活の様子をお話できればと思います。よろしくお願い致します。





学習のあしあと



5組

縄跳び、長縄練習！！

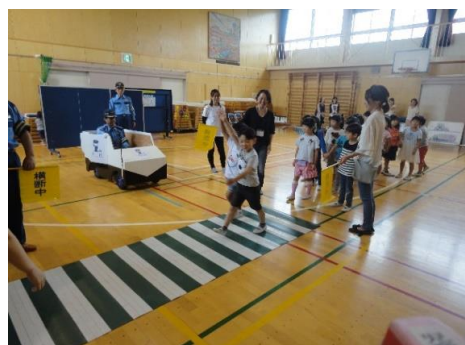
運動会や長縄集会に向けて、朝の運動の時間に5組全員で縄跳び、長縄練習に取り組んでいます。跳ぶことが上手な高学年が中心となり、リズムの声かけをしたり、苦手な子には応援のエールを送るなど、クラス一丸となって一生懸命練習しています。1本でも多く、上手に跳べるように必死にチャレンジしています。



1年生

交通安全教室

旭警察署の方々と校外委員さんに来ていただき、道路や横断歩道の安全な歩き方を教えてもらいました。道路に潜む危険について映像を見ながら、どこが危険なのか、どうすれば安全なのかを考えました。実際の横断歩道を想定して、「止まる！見る！待つ！」を合言葉に渡る練習をしました。普段の生活の中でも、今回学んだことを思い出して安全に歩いてほしいです。



2年生

サツマイモの苗植えをしました！

6月に齋藤さんの畑に行って、サツマイモの苗を植えてきました。学校では、キュウリ、トマト、ナス、オクラ、ピーマン、ミニトマトを育てています。サツマイモは、齋藤さんの畑をお借りして育てていきます。成長を楽しみにしながら、これから観察していきたいと思います。秋の収穫も楽しみです！



3年生

もっと知りたい 白根のまち

3年生から新しく始まった社会の学習で、白根のまちについて調べました。学校の屋上からまちをながめて、気づいたことやふしぎに思ったことを、実際に歩いて調べに行きました。「白根のまちは、やっぱり家が多いんだね。」「坂がたくさんある。ここは昔、山だったのかなあ？」と、実際に見て調べることで、意欲的に学ぶことができていました。保護者のみなさんにもご協力いただき、ありがとうございました。





4年生

出前水道教室

4年生は社会科で、水はどこから来るのか、どのように水がきれいになっていくのかを学んでいます。その一環として、横浜市水道局の方々に出前授業をしていただきました。「緑のダム」に水が蓄えられる様子を見たり、浄水場でどのように水をきれいにしているのかを、ろ過実験を通して学んだりしました。水がどんどんきれいになっていく様子を見て、「すごい！」とびっくりしていました。



5年生

おいしいお米を育てよう！

5年生では、これから1年間かけてお米を育て、その体験をもとにいろいろなことを学んでいきます。その第一歩として、先日学校で田植えを行いました。田んぼに水をはって、みんなで代掻きをして、そのあとに田植えをしました。子どもたちは泥だらけになりながらも、楽しんで活動していました。これから大切に稲を育てて、おいしいお米を食べたいですね！



6年生

☆最高！最協！！最楽！！修学旅行☆

修学旅行では、華厳の滝や湯滝を見て横浜では感じられない自然に触れました。日光東照宮見学を今後の社会の学習につなげていきたいと思えます。また、キャンプファイヤーや学年レク、野外炊事などの様々な活動を通して、子どもたちの協力し合いながら楽しむ姿が見られました。時間を意識したり、次の行動を見通したりして動けるようになり、成長を感じることができ、うれしく思います。学校生活にその成長を生かして行ってほしいと期待しています！！



児童支援専任より

「児童支援専任」という教諭が各学校に一人ずついることをご存知の方は、どれくらいいらっしゃるでしょうか。「児童支援専任教諭制度」は、子ども一人一人が安心して自分らしく学校生活を送ることができるよう平成22年からスタートし、平成26年度で市内全校に配置されました。児童支援専任教諭は学級担任をもち、いじめなどの人間関係上のトラブルや不登校、特別支援的な配慮など、様々な困り感のある子どもや保護者と向き合い、解決や改善の方法を探っています。中には、学校だけでは難しい問題もあり、そのような時には学校カウンセラーや外部の相談機関などの窓口にもなっています。

1学期も、様々な困り感を抱えた子どもやその保護者の方と関わってきました。その中で日々感じていることは、保護者の方のご協力の大切さです。特に放課後や休日は、学校の指導や支援が行き届きにくい時間です。誰よりも多くの時間をその子と過ごしているであろう保護者の方とご協力しながら、これからも一人でも多くの子が笑顔で学校に通えるようにしていきたいと思えます。保護者の皆様には、引き続きご支援・ご協力よろしくお願いたします。
(児童支援専任 佐藤 妙恵)